

## 実践報告

# 特別支援学級における行事作文指導

## —看図アプローチで思い出す—

田中 岬<sup>1)</sup>

TANAKA Misaki

キーワード：特別支援・看図アプローチ・きゅうちゃん・行事作文

### 概要

本報告は、特別支援学級における行事作文指導の実践報告である。行事作文というのは、運動会や学芸会、遠足など、小学校で行事が終わるごとに国語科で取り組む作文のことである。しかし、大きな行事の後には振替休日や週末などがあり次の授業日までに間がある。特別支援学級の子どもにとって、準備や練習期間までも遡り、つぶさに思い出して書くことは困難である。そんなときに役立つのが「看図アプローチ」である。「看図アプローチ」は思い出す前に「見る」ことから始まる。見れば思い出せるのである。自分自身を投影できる絵教材「きゅうちゃん」の登場で子どもたちは勇んで書き始める。教師が「思い出してほしい場面」を「きゅうちゃん」の絵図に託して提示することで、特別支援学級の子どもたちに過ぎた日の出来事や自分の気持ちを思い出させる助けとなった。「きゅうちゃん」絵図の読解を通して、子どもたちは多くの言葉を発した。絵図の受け止め方の違いを伝え合い、相手の考えや気持ちに寄り添う姿も見られた。発した言葉をつなぎ合わせることで特別支援学級の子どもたちに互いの他者理解、自己理解を促した。このようにして子どもたちと創る授業の中で、行事までの練習過程や発表当日の生き生きとした様子や思いを表現した行事作文を書いてもらうことができた。

### 1. 行事作文への「きゅうちゃん」導入の経緯

行事作文という言葉は学校現場でよく用いられる。日常の教科学習活動はもちろん、特別活動の1つである学校行事によっても子どもたちは大きく成長する。目的に向かって、目標を定め、その目標を達成するために練習や準備の過程を通して子どもたちは変容していく。その一連のあり様を子どもたち自身がふりかえる1つの手立てとして書くのが行事作文である。

しかし、書くことが得意で書くことが好きな子どもたちには苦にならなくても多くの子どもは作

文には苦手意識を持っている。

小学校学習指導要領解説国語編（2017）では、次のようにうたわれている。

「B書くこと」に関する配慮事項(5) 第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「B書くこと」に関する指導については、第1学年及び第2学年では年間100単位時間程度、第3学年及び第4学年では年間85単位時間程度、第5学年及び第6学年では年間55単位時間程度を配当すること。その際、実際に文章を書く活動をなるべく多くすること。

1) 岩見沢市立第一小学校

低学年は100時間相当である。しかし、書くことは、行事作文ばかりではない。読書感想文や、物語教材の登場人物へのお手紙、日記、また、その他の教科や特別活動との横断的活動として生活科の観察記録文や社会見学のまとめ、外部講師の授業へのお礼状なども含まれる。そうすると国語科で取り組む行事作文は、教科書の進度の合間を縫って書くため、じっくりと思い出を語り合ったり、みんなでゆっくり思い出したりする時間が取れないこともある。子どもたちは「楽しかった。」「頑張った。」と言うが、それだけでは作文にならない。「何を?」「どんなふうに?」そう問いかけると結局、子どもたちは「どう書いていいかわからない。」(鹿内 2003, p.118)と言う。「もう、忘れた。」と言う。

筆者の担当するクラスには2年生児童3名が在籍している。障害の特性から、特別支援学級においてあらゆる指導は「即時対応」が基本である。何日も前に起こったこと（ときには、数時間前に起こったこと）を思い出して「そのとき、どんな気持ちだったのか。」「何をしたのか。」「なぜ、そう思ったのか。」という発問には答えに窮する児童もいる。ところが、学校行事についての作文を書くとなると、2～3週間前から始まる練習や場合によっては1か月にも及ぶ準備期間の過程から思い出して、自分がどんなことをやってきたか、そのときどんな気持ちでいたか、そして発表当日はどんな結果になったかなど、順序立てて思い出して書かなければならない。特別支援学級にはこの一連の活動が難しい児童も在籍している。

授業をする立場からすると、子どもたちに行事の興奮が冷めやらぬうちに高揚した気持ちや行事に取り組んだ達成感を文章にさせたいと願う。しかし、大きな行事の後には週末や振替休日などがあり、子どもの立場からすると、次の登校日には気持ちはリセットされている。3～4日後の登校日に待ってましたとばかりに書かされる行事作文である。「思い出して書こう。」と言われても「何から、どうやって書き始めたらいいかかわからない」のだ。

筆者は、これまで通常学級における1年生の説明文づくり(田中 2022)、1年生の思い出作文(田中・石田 2022)指導の際に「きゅうちゃん」を用いてきた。「きゅうちゃん」は全国看図アプローチ研究会のマスコットのキャラクターであり、石田が発案・開発したビジュアルテキストでもある(石田 2022・2023)。本学級(特別支援)においても、「きゅうちゃん」絵図を使った自立活動及び国語科でのお話づくり(田中 2023)を行ってきた。その際、自分の考えを言葉にして相手に伝えることが少ない子どもが在籍する情緒障害のクラスでも、「きゅうちゃん」絵図を用いることで言葉による気持ちや考えの表出がたくさん見られた。そこで、少ない授業時数で、学校行事を思い出して書く作文にも「きゅうちゃん」絵図が有効ではないかと考えた。

取り組んだのは、9月末に行われたマラソン記録会の作文と10月末の学芸会の作文である。まず、次章でマラソン記録会の作文指導について報告する。

## II. マラソン記録会作文の指導計画

### II-1 対象児童・授業者・実践時期など

◇対象児童：特別支援(情緒)学級

在籍児童3名

◇授業者：筆者(田中 岬)

◇実践時期：10月初旬

◇倫理的配慮：本論文で紹介する実践データ、作文、ワークシートなどを掲載するにあたっては、保護者からの掲載許可の同意書をもっている。(2022年12月22日)

### II-2 単元・目標・授業計画

◇単元名：マラソン記録会の作文を書こう

練習の時や本番でどんなことがあったか、したこと、考えたことを思い出して書こう。

◇指導目標

◎経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にして書くことができる。(書くことア)

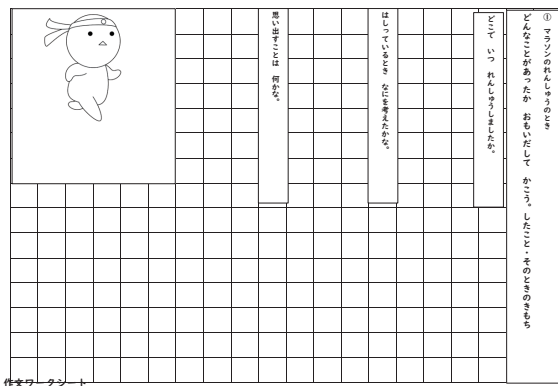
◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の

順序に沿って簡単な構成を考えて文に表わす  
 ことができる。(書くことイ)  
 授業の進め方を表1に示す。

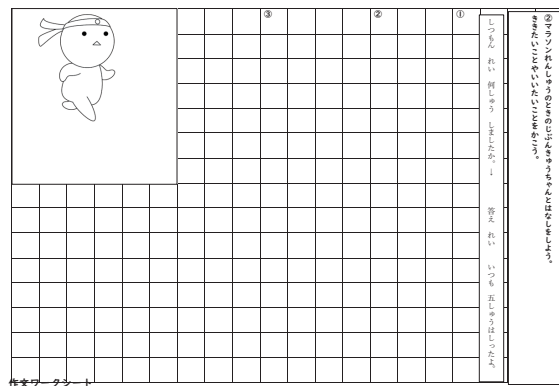
表1 指導計画

<p><b>【1時間目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソン記録会のことを思い出して作文を書くことを確認する。(5分)</li> <li>・ワークシート①に沿って、マラソン練習の時、どんなことがあったか全体で思い出す。(10分)</li> <li>・ワークシート①に各自記入する。(友達が言ったことも書いてよい)(6分)</li> <li>・ワークシート②に沿って、マラソン練習の時の自分きゅうちゃんと話をする。聞きたいことや言いたいことを考えて発表する。(10分)</li> <li>・ワークシート②に各自記入する。(友達の言ったことも書いてよい)(6分)</li> <li>・ワークシート①②をロイロノートで共有し交流する。(5分)</li> <li>・まとめ、次時予告(ワークシート③④に進む)(3分)</li> </ul>
<p><b>【2時間目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時想起(5分)</li> <li>・ワークシート③に沿って、マラソン本番の時、どんなことがあったか、何が見えたかなど全体で思い出す。(10分)</li> <li>・ワークシート③に沿って、各自記入する。(友達が言ったことも書いてよい)(6分)</li> <li>・ワークシート④に沿って、マラソン本番の時の自分きゅうちゃんと話をする。聞きたいことや言いたいことを考えて発表する。(10分)</li> <li>・ワークシート④に沿って、各自記入する。(友達の言ったことも書いてよい)(6分)</li> <li>・ワークシート③④をロイロノートで共有し交流する。(5分)</li> <li>・まとめ、次時予告(ワークシート①②③④を見ながら作文用紙に作文を書く)(3分)</li> </ul>
<p><b>【3・4時間目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作文用紙に清書する。</li> <li>・推敲する。</li> <li>・まとめ、ふりかえりをする。</li> </ul>

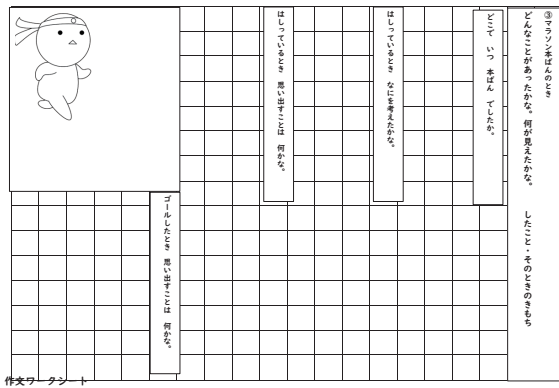
II-3 教材(ワークシート①~④)



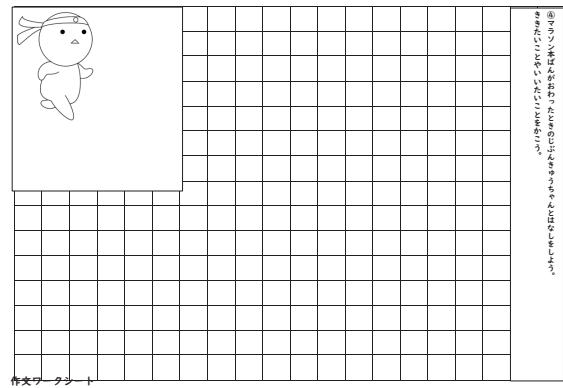
ワークシート①



ワークシート②



ワークシート③



ワークシート④

### Ⅲ. マラソン作文授業の実際

#### Ⅲ-1 授業の概略と教材について

授業の進め方は上掲「指導計画」（表 1）のとおりであるが、概略をまとめておく。

#### 授業の概略

##### 【1 時間目】

マラソン記録会の作文を書く勉強が始まることを確認する。ワークシート①から指示文に沿って全体交流、個人思考、記入の流れでワークシート②まで進む。ワークシート①②の記入まで済んだらロイロノートで各自撮影して共有する。

##### 【2 時間目】

1 時間目と同様にワークシート③④を完成しロイロノートで共有する。

##### 【3・4 時間目】

完成したワークシートをもとに作文用紙に清書する。ワークシートごとに改行し段落を分けて書いていくことをその都度指示し個別に確認する。書きあがったら個別に推敲の支援を行う。

#### 教材（ワークシート）

この「マラソン作文」の授業では、全部で 4 枚のワークシートを活用する。すべてのワークシートに、はちまきをしてマラソンをしているきゅうちゃんの絵図を挿絵として載せてある。ワークシート①は、マラソン記録会の練習時のことを思い出して、したことや気持ちを書くワークシートである。ワークシート②はマラソン練習時

の自分と語り合う（自分に聞きたいことや言いたいことを書く）ワークシートである。ワークシート③はマラソン記録会本番の時に見えたものや、したこと、気持ちなどを書くワークシートである。ワークシート④はマラソン記録会本番の時の自分と語り合う（聞きたいことや言いたいことを書く）ワークシートである。

まず全体でワークシートの指示文を読み、指示（発問）を確認し、自由に考えを発表させる。次に指示に沿って各自ワークシートに記入していく。この時、全体発表で出た友達の考えも書いてもよいことにする。

これまでの筆者の看図アプローチを活用した「書くこと」に関する授業では、自分のしたことや気持ちを言葉にする際に、子どもたちそれぞれに、ワークシートの発問にふさわしい「自分きゅうちゃん」を選ばせていた。しかし、今回はマラソンという行事の性質から、それぞれに自分に似た絵図を選ばせる必要がないと考え、各自にきゅうちゃん絵図を選ばせることはせず、走っている姿の同一のきゅうちゃん絵図 1 枚のみ提示した。それを自分きゅうちゃんで見立て（変換）、練習の時、本番の時、それぞれ何を思ったかどんなことをしたか、そのときの自分を想像して（思い出して）書かせる（要素関連づけ・外挿）にとどめた。それぞれのワークシートには、以下の発問ごとにマス目を施した記述欄を設けた。

- ①練習の時、どんなことがあったか思い出して書こう。
- ②練習の時の自分きゅうちゃんと話をしよう。
- ③本番の時、どんなことがあったかな。何が見えたかな。
- ④本番の時の自分きゅうちゃんと話をしよう。

### Ⅲ-2 授業記録と発表内容

#### Ⅲ-2-1 【1時間目】

ワークシートを配付すると、「このきゅうちゃん、運動会きゅうちゃん。マラソンじゃない。」「わたし、はちまきしてない。」と言い始める児童がいた。筆者は、「そうだね。でもこれがマラソンをしているときの自分きゅうちゃんだと思って考えてね。」と伝えて授業を進めようとした。他の児童は納得してワークシート①の指示文を読み、練習時の様子を思い出し、発表することができた。以下に授業の一部を紹介する。Cは児童、Tは授業者（筆者）である。なお、倫理的配慮の観点から一人称はすべて「わたし」に統一している。

- T ジャあ、まず、練習は、どこで、したんだっ  
たかな？
- C1 体育館とか、グラウンド。
- T うん、そうだね。それじゃあ、体育館とか  
グラウンドで、一日のうちで、いつマラソ  
ン練習したかな。
- C3 これ、マラソンじゃない。
- C2 ロケット公園でもした。
- T ああ、そうだよね。ロケット公園にも行っ  
たね。いつ？
- C1 2の休み。
- T うん、いいね。そうだね。C3さん、おん  
なじかな？
- C3 同じだけど、このきゅうちゃん、運動会。
- T うん、そうだね。でも、このきゅうちゃん  
走ってるから、マラソンにして。
- C3 運動会。
- C1 いいしょ、このきゅうちゃん、マラソン

だよ。

- C3 マラソンの時、はちまきしてない。わたし。
- C2 C3、でもマラソンでもいいよ。
- T ありがとう。C2さん。じゃあ、このきゅ  
うちゃん、自分だと思ってね。きゅうちゃん、  
練習で走ってる時、何考えていたかな。
- C2 足が痛いけど頑張る。走れる。
- T うん。
- C1 走ってる時、頑張るぞ〜って心の中で  
言った。
- C2 自分との闘い。
- T ほ〜。
- C1 あきらめないで走る。最後まで。
- T うん、いいね。いっぱい出てきたね。思い  
出してきたね。C3さんは、練習のときどん  
なこと考えて走っていたかな。
- C3（首をかしげる）
- T 思い出せないかなあ。それじゃあ、ワーク  
シートの①番、書けるところを書いてくだ  
さい。
- C1 もう、言いながら書いたよ。少し。

こうして、思い出したことを発表し、友達の話  
を聞いた後、ワークシート①を記入した。その後、  
ワークシート②の内容についても話し合い、各自  
記入した。2人はワークシート②の「自分きゅう  
ちゃんに聞きたいこと」として実際のコースを走  
る練習をした際の2回の順位を問うていた。1人  
は、ワークシートに提示した「きゅうちゃん絵図」  
がマラソンの絵図ではないということに気持ちが  
向いたまま、この日は「どこで練習したか」とい  
う発問に答えてワークシートに記入するにとど  
まった。

特別支援学級児は、あるこだわりを持ったとき、  
そのことに気持ちが集中して、今やらなければな  
らない課題に向き合うことができない状態になる  
ことがある。この日のこの状況を回避するために、  
「きゅうちゃんのはちまきを体育帽子に描き換え  
てもよい」とすれば他の児童と同じように課題に

向き合うことができたかもしれない。

発表内容は、以下にそれぞれのワークシート①②で紹介する。（ワークシートは誤字、脱字が多く読みづらいものもあるため、筆者が、誤字を訂

正し、抜けている文字を補ってパソコンで入力したものを掲示する。漢字仮名表記は児童が書いたままとするが、読みやすさを考慮して分かち書きにしてある。）

完成した C1 のワークシート①

マラソン作文メモ 名まえ

① マラソンのれんしゅうのとき  
 なんかあったか おもいだして かこう。したごと・そのときのきもち

どこで いっ れんしゅうしましたか。

たいいくかんで 2の休みに れんしゅうをしました。

はじっているとき なに考えたかな。

はじっているとき がんばるきうって心の中でした。  
 た。あきらめないことについて。

思い出すことは 何かな。

はじめマラソンのれんしゅうをやったとき、とてもだ  
 ちどぶつかってころんじやつたことをおもいだした。

作文ワークシート

完成した C1 のワークシート②

② マラソンれんしゅうのときのじぶんきゆうちゃんとはなしをしよう。  
 ききたいことやいいたいことをかこう。

しつも れい 何しゅう しましたか。↓ 答え れい いつも 五しゅうはしたよ。


①  
 さいしょのはしたカードは何ばんでしたか。↓19  
 ばんから10ばんになりました。

②  
 マラソンカードは何まいですか ↓2まい。

③  
 ゴールまでついたり、ごと思いましたか。  
 ↓やったりって思いました。いっばいはしたぞうと  
 思いました。みんながおうえんしてくれたからよかつ  
 た。


作文ワークシート

完成した C2 のワークシート①

	マラソン作文メモ 名まえ									
	① マラソンのれんしゅうのとき									
	いろんなことがあったか おもいだして かこう。したこと・そのときのきもち									
	ことば いっ れんしゅうしましたか。									
	ロケット公園でれんしゅうした。									
	はしっているとき なにを考えたかな。									
	「足がいたいけどがんばる。はしれる。じぶんのだ									
	たい。」。									
	思い出すことは 何かな。									
	一年生のとき「なんかいつもうんじゅったなく。いた									
かったけどがんばった。」「と思っ出てておまじだ。										


作文ワークシート

完成した C2 のワークシート②

	② マラソンれんしゅうのときのじぶんきもちとかなどはなにをしよう。 ききたいことやいいことかこう。									
	① しもん れい 何しゅう しましたか。↓ 答え れい いつも 五しゅうはしたよ。									
	② カードはなんばんでしたか。↓さいしよは、5のばん									
	だったけど三回目のときは4のばんでした。									
	③									

作文ワークシート

完成した C3 のワークシート①（②は書かなかった）

										思い出すことは 何かな。										はしているとき なに考えたかな。										グラウンド 体育かん ロケット公園										どこで いった れんしゅうしましたか。										① マラソンのれんしゅうのとき どんなことがあったか おもいだして かこう。したこと・そのときのきもち										マラソン作文メモ 名まえ									
作文ワークシート																																																																					

III-2-2 【2 時間目】

2 時間目はワークシート③④について考えた。  
以下に 2 時間目の授業記録の一部を紹介する。

- T マラソン記録会の本番のとき、どんなことを考えて走っていたかな。
- C1 いつもより頑張れた。速く走れた。
- C3 ママが見えた。
- T そうだね、C3 さんのママいたねえ。
- C2 1 年生のときもいっぱい、一生懸命、走ったなあ。
- C1 お父さんやお母さんたちがいっぱいいるなあ。
- T ああ、応援に来てくれていたねえ。
- C3 わたし、お父さんは来なかった。会社だから。
- T うん、お仕事のお父さんやお母さんもいるもんね。来られないお家の人もいたよね。いっぱいいたよ。でもきっと、お仕事しながら、頑張れ～って応援してくれていたと先生、思うよ。

- C1 C1 は、もっと走ろうって思った。
- C2 わたしも、自分との闘いだから一生懸命走ろうって思いました。
- T そうだね。C2 さん、苦しかったけど頑張ったねえ。それじゃあ、今みんな思い出したこと、ワークシート③に書こう。
- …中略…
- T じゃあ今度はワークシート④、これで最後だよ。
- C1 少ないな、今日。
- T そうだね。前のお話づくりのときはもっといっぱいあったもんね。ワークシートね。さあ、最後は、本番のときの自分きゅうちゃんに言いたいことや聞きたいことを考えてね。何て言おうか。
- C1 たくさん走ったね。
- C3 頑張ったね。金メダルあげる。
- T わあ、自分きゅうちゃんにご褒美あげるんだ。C3 さん。いいね、それ。
- C2 わたしも。前は 43 番で、(本番は) 46 番になったけど、足は速い(練習のときより、みんなのタイムが速くなっていた) からス



タンブ押しとくねって言ってあげる。

T そうだね。そうそう、み～んな、2回のコース練習のときより、タイムが速くなっていたんだよね。先生たちね、みんなびっくりしたんだよ。

C3 頑張ったから好きなもの2個買ってあげるね。

T C3さん、金メダルだけじゃないの？


C3 (うなずく)

T はい。じゃあ、ワークシート④も書きちゃおうか。

ワークシート④への記入後、ロイロノートを使いそれぞれ完成したワークシート③④を写真に撮って共有した。


発表内容は、以下にそれぞれのワークシート③④で紹介する。ワークシート③の質問項目のうち1つ目の「どこでいつ本番でしたか」については、練習時と同じコースであったので全員省略している。

完成したC1のワークシート③

	ゴールしたとき 思い出すことは 何かな。 ようし、がんばったぞ。がんばったぞ。	はじまっているとき なに考えたかな。 おとうさん、おかあさんがいっぱいいた。	③ マラソン本番のとき どんなことがあったかな。何が見えたかな。 したこと・そのときのきもち


作文ワークシート

完成したC1のワークシート④

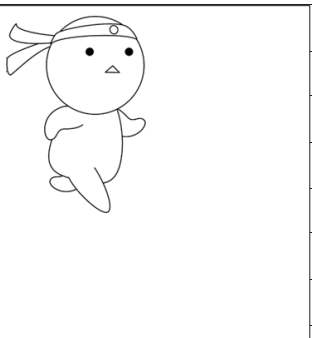
	④ マラソン本番がおわったときのじぶんきもちやうんとはなをしよう。 良かったことやいいことをかこう。

作文ワークシート


完成した C2 のワークシート③

	ゴールしたとき、思い出すことは、何かな。 「やっとゴールについたよ。」と思えました。	一年生とき…いっぱい、いっぱいけんめい、はしったよ。」と思えました。	はしっているとき、思い出すことは、何かな。	はしっているとき、なにを考えたかな。	どこで、いつ、本ばんでしたか。	③ マラソン本ばんのとき どんなことがあったかな。何が見えたかな。 したこと・そのときのきもち
			作文ワークシート			

完成した C2 のワークシート④


	作文ワークシート	④ マラソン本ばんがよかったときのじぶん、きゅうちゃんとはなをきましよう。 ききたいことや、いたいたいできをかこう。	まえ、④3 ほんだけど、④6 ほんになっても、あじは、はいからスタンプ、おとくね。↓やっつらうれしい。ありがとう。うれしい。「ハハハハ。」

完成した C3 のワークシート③

											はしっているとき 思い出すことは 何かな。
											はしっているとき なに考えたかな。
										どこで いつ 本ばん でしたか。	
										③ マラソン本ばんのとき どんなことがあったかな。何が見えたかな。	
										したこと・そのときのきもち	
										ままが 見えました。お父さんにも きてほしかった です。	
										ゴールしたとき 思い出すことは 何かな。	
										うれしい 気せむ。	

作文ワークシート

完成した C3 のワークシート④

											④ マラソン本ばんがわったときのじぶんきゆうちゃんとはなをきまら。                 ききたいことやいいこときかこう。
											がんばったね。 金めたる あげなよ。 すきなもの ころか かってあげなね。

作文ワークシート

III-2-3 【3 時間目】

ワークシート①～④をもとにして、記述した順番に作文用紙への清書をした。推敲は個別に行っ

た。完成した作文を以下に紹介する。一人称はすべて「わたし」に書き替えてある。

マラソンの思い出

C 1

わたしは、マラソンのれんしゅうで二の休みとひる休みにれんしゅうをしました。  
はしっているときがんばるぞ〜って心の中で思いました。  
はじめてマラソンれんしゅうをやったとき、ともだちとぶつかってころんじやったことを思い出しました。さいしょにはしったとき十九ばんのカードをもらいました。そのつぎは、十ばんでした。ゴールについたとき「やった〜」と思いました。「いつばいはしったぞ〜」と思いました。先生が「がんばれ〜」。っておうえんしてくれたからよかったです。  
本ばんの日は、「今日は本ばんだからがんばるぞ〜」と思いました。スタートのところに、おとうさん、おかあさんがいっぱいいました。わたしは、もつとはしろうと思いました。おなかがちよつといたくなりました。がんばるぞ〜と思いました。  
ゴールしたとき、やった〜。やった〜。一年生のときよりあがったぞと思いました。  
おうちにかえったら、ごほうびのおこのみやぎもらえました。みんなでたべたら、もつともつとおいしくたべられました。おいしかったです。また、たべたいと思いました。  
また、なにかにがんばったら、ごほうびをもらいたいな〜って思いました。  
がんばったじぶんに「たくさん、はしったね。一年生よりもはやくなったね。がんばったから、シーンをあげる。」とってあげたいです。  
ダンスや学げい会もがんばろう。みんなをよろこばせよう。パパにもおしえてあげよう。マラソンだけじゃなくて、いろんなことをあきらめないではりきっていこうと、思いました。

がんばった自分

C 2

いつもの二の休み、まいにち、マラソン記ろく会にむけて、マラソンをいっぱい、れんしゅうしました。わたしは、本とうは、はしるのがきらいです。でも、いっぱいれんしゅうしたから体がやわらかくなりました。一年生のとき、「なんかいもころんじやったな。いたかったけど、がんばった。」  
と、思い出してきました。  
さいしょは、五十六ばんだったけど、三回目ときは、四十三ばんでした。  
本ばんでは、「自分とのたたかい。いっしょうけんめい、はしろう。」と思いました。  
れんしゅうで「いっぱい、いっぱい、いっしょうけんめいはしったな〜。」  
と思いました。左のおなかがいたくなりました。いきがハアハアとなりました。あともうすこしでゴールだ。がんばろうと思いました。ゴールについたとき、「やっ」とゴールについた〜。」と思いました。  
れんしゅうのさいごのときは、四十三ばんだったけど、本ばんでは四十六ばんになってしまいました。じゅんばんがさがったな〜と思つてちよつとかなしくなりました。  
うちにかえったらママが「四十六ばんになつてもれんしゅうして足はやくなつたからスタンプおしくね。」と言いました。わたしはうれしくて「やった〜。」と思いました。

マラソンの思い出

C 3

わたしは、グラウンドや体育かんやロケット公園コースでマラソンのれんしゅうをしました。  
はしっているとき、休みたいなあと思いました。でも、さいごまでがんばりました。  
ほんばんの日、コースで、ママが見えました。ママのおおを見たら、がんばるぞ〜と思いました。でも、はしっているとき、いきがくるしくなりました。けど、がんばりました。  
「がんばったね。金メダルあげるよ。」  
わたしは、じぶんに言いました。

続いて学芸会の作文指導について報告する。

似たきゅうちゃん絵図を選び、よく見て、したことや気持ちを思い出しながら作文を書こう。

**IV. 学芸会作文の指導計画**

**IV-1 対象児童・授業者・実践時期など**

- ◇対象児童：特別支援（情緒）学級  
在籍児童3名
- ◇授業者：筆者（田中 岬）
- ◇実践時期：11月初旬
- ◇倫理的配慮：本論文で紹介する実践データ、作文、ワークシートなどを掲載するにあたっては、保護者からの掲載許可の同意書を得ている。（2022年12月22日）

◇指導目標

- ◎経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にして書くことができる。（書くことア）
- ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて文に表わすことができる。（書くことイ）
- ◎言葉を通じて積極的に人と関わり、自己を表現し、他者の心と共感するなど、互いの存在について尊重しようとする態度を養うことができる。（学びに向かう力・人間性等）

**IV-2 単元・目標・授業計画**

- ◇単元名：学芸会を思い出して作文を書こう  
学芸会の練習や、本番前と本番のときの自分に

授業の進め方を表2に示す。

表2 指導計画

<p><b>【1時間目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸会のことを思い出して、作文を書くことを確認する。（5分）</li> <li>・それぞれの演目（学年の演目・グループの演目）ごとに練習しているときの自分に似たきゅうちゃんを、きゅうちゃんシートから1つずつ2つ選んでワークシート①②に1枚ずつ切り取って貼る。（5分）</li> <li>・ワークシート①に沿って、学芸会練習の時、どんなことがあったか全体で思い出す。（8分）</li> <li>・ワークシート①に各自記入する。（友達が言ったことも書いてよい）（6分）</li> <li>・ワークシート②に沿って、学芸会練習の時の自分きゅうちゃんと話をする。聞きたいことや言いたいことを考えて発表する。（8分）</li> <li>・ワークシート②に各自記入する。（友達の言ったことも書いてよい）（6分）</li> <li>・ワークシート①②をロイロノートで共有し交流する。（5分）</li> <li>・まとめ、次時予告（学芸会当日のことについて書くことを確認し、学芸会本番前の自分（1つ）とステージ上の自分に似たきゅうちゃん（2つ）を選んで切り取ってそれぞれワークシート③④⑤に貼りつけておくことを宿題にする）（2分）（ワークシート⑤は3時間目に使う）</li> </ul>
<p><b>【2時間目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時想起（5分）</li> <li>・ワークシート③に沿って、学芸会当日、出番を待っているときの気持ちを思い出して全体で交流する。（9分）</li> <li>・ワークシート③に各自記入する。（友達が言ったことも書いてよい）（6分）</li> <li>・ワークシート④に沿って、学芸会本番のときステージ上でどんなことをしたか、また、そのときの気持ちを思い出して全体で交流する。（9分）</li> <li>・ワークシート④に沿って、各自記入する。（友達の言ったことも書いてよい）（6分）</li> <li>・ワークシート③④をロイロノートで共有し交流する。（5分）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ、次時予告（ステージで演じている自分のことと、学芸会をふりかえって今の気持ちや今の自分に言いたいことについて書くので、今の自分に似ているきゅうちゃんを1つ選んで切り取り、ワークシート⑥に貼り付けておくことを宿題にする。ワークシート⑤のきゅうちゃんは前時に貼り付け済み）(5分)</li> </ul>
<p>【3 時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時想起（5分）</li> <li>・ワークシート⑤に沿って、学芸会当日、本番をやっているときの自分に言いたいこと・聞きたいことを全体で交流する。（9分）</li> <li>・ワークシート⑤に各自記入する。（友達が言ったことも書いてよい）（6分）</li> <li>・ワークシート⑥に沿って、学芸会をふりかえって、今の自分の気持ちやお家の人に言われたことを思い出して全体で交流する。（9分）</li> <li>・ワークシート⑥に沿って、各自記入する。（友達の言ったことも書いてよい）（6分）</li> <li>・ワークシート⑤⑥をロイロノートで共有し交流する。（5分）</li> <li>・まとめ、次時予告（ワークシート①～⑥をもとにして作文用紙に作文を書く）（5分）</li> </ul>
<p>【4・5 時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作文用紙に清書する。</li> <li>・推敲する。</li> <li>・ふりかえり、まとめ。</li> </ul>

### IV-3 教材

使用する教材はワークシート①～⑥および自己きゅうちゃんを選ぶシート1枚の計7枚である。

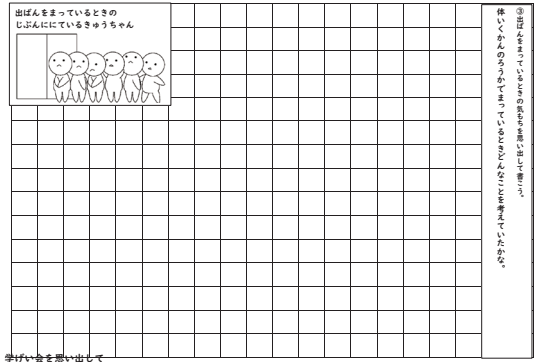
ワークシート①は、学芸会の練習時のことを思い出して、したことや気持ちを書くワークシートである。ワークシート②は練習時の自分と語り合う（自分に聞きたいことや言いたいことを書く）ワークシートである。ワークシート③は学芸会当日、出番を待っているときの様子や、気持ちなどを書くワークシートである。ワークシート④は本番の時、ステージ上でしたことや自分の気持ちを思い出して書くワークシートである。ワークシ

ート⑤は本番のときのステージ上での自分と語り合う（聞きたいことや言いたいことを書く）ワークシートである。ワークシート⑥は学芸会をふりかえって自分の気持ちや周りの人から言われた言葉などを書くワークシートである。来年の希望など書いてもよいことにする。

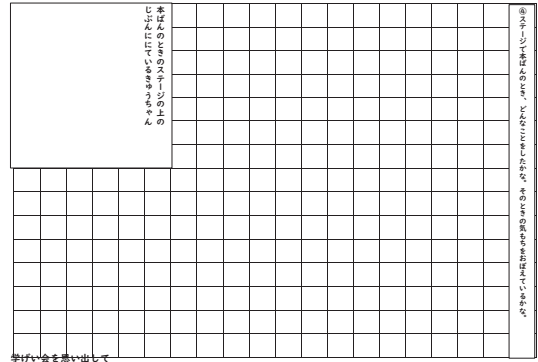
まず全体でワークシートの指示文を読み、指示（発問）を確認し、自由に考えを発表させる。次に指示に沿って各自ワークシートに記入していく。この時、全体発表で出た友達の実考も書いてもよいことにする。

ワークシート①

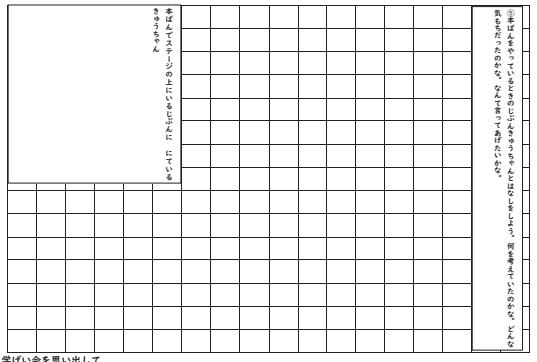
ワークシート②



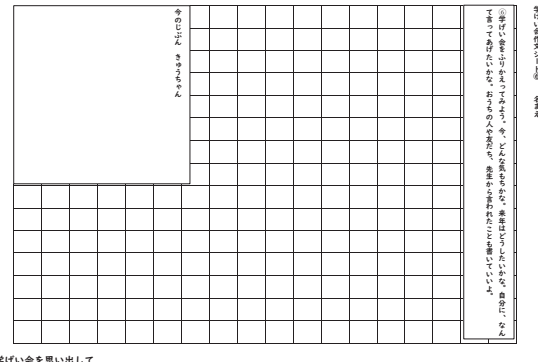
ワークシート③



ワークシート④



ワークシート⑤



ワークシート⑥

V. 学芸会作文授業の実際

V-1 授業の概略と教材について

授業の進め方は上掲「指導計画」(表2)のとおりであるが、概略をまとめておく。

授業の概略

【1時間目】

学芸会の作文を書く勉強が始まることを確認する。ワークシート①から指示文に沿って全体交流、個人思考、記入の流れでワークシート②まで進む。全体交流の中で、指示文の「そのときの気持ちやしたこと」にふさわしい自分きゅうちゃんを、きゅうちゃんがたくさん載っているシートから選ばせる。選んだきゅうちゃんをシートから切り取り、ワークシート①②に糊で貼り付けさせる。ワークシート①②の記入まで済んだらロイロノートで各自撮影して共有する。

【2時間目】

1時間目と同様にワークシート③④を完成しロイロノートで共有する。

学げい会をふりかえって、作文を書こう。

181	287	269	375	432
433	446	476	344	269
257	171	154	110	
14	11	学げい会のれんしゅう、本ほんののときのことを思い出して、そのときの自分になているきゅうちゃんをえらぼう。ワークシートに1まいずつ、切りとって、のりてはろう。  2年あおぞら組 名前		

みさき先生の国語の時間

自分きゅうちゃんを選ぶシート

### 【3 時間目】

2 時間目と同様にワークシート⑤⑥を完成してロイロノートで共有する。

### 【4・5 時間目】

完成したワークシートをもとに作文用紙に清書する。ワークシートごとに改行し段落を分けて書いていくことをその都度指示し個別に確認する。書きあがったら個別に推敲の支援を行う。

## V-2 授業記録と発表内容

### V-2-1 【1 時間目】

学芸会作文ワークシート（①～⑥がセットになっているものと、きゅうちゃんが載っているシート）を配付すると、子どもたちはいつものように歓声をあげながら載っているきゅうちゃんに見入った。

今回の作文を書くための行事、学芸会では、当該学年の子どもたちは3つのグループに分かれて練習する時間があった。ダンスのグループ、跳び箱・縄跳びなどを組み合わせたリズム体操のグループ、手旗を使ったリズムダンスのグループに分かれた。その3グループの演技をつないで1つの演目として発表したほか、学年全体で手話の歌を披露した。筆者のクラスの3人のうち、1人が跳び箱・縄跳びを含むリズム体操、2人がダンスのグループに入っていた。ワークシート①に取りかかったときはそれぞれの担当したグループの種目について楽しそうに思い出し自由発言がなされた。以下に授業の一部を紹介する。Cは児童、Tは授業者（筆者）である。なお、倫理的配慮の観点から一人称はすべて「わたし」に統一している。

T 学芸会ときのみんなに似ているきゅうちゃんを、シートに載せてきたよ。まず、自分きゅうちゃんを探すよ。

C2 わあ～、いっぱいいる。あ、これ、きつねダンスのこうやってるときの。（自分が演じたダンスのポーズをする）

C3 これ、跳び箱。

T うん、そうだね。C3さん、それC3さんだね。

C3 縄跳びしてるきゅうちゃんもいる。

C2 ここにきゅうちゃん、いっぱい並んでる。

T うん、そうだね。このきゅうちゃんたち、何してるのかな。

C2 待ってるときじゃない。

C1 ああ、体育館の入り口のところで。そうだね。

T うん、うん。そうだね。出番待ってる時だね。

C1 先生、こっちのこれ、このときのわたしたちのあれ、ウィッチドクターのこんにちはってやっているとみたい。

T あ～、そうだね。そのときのポーズみたいだね。

C1 うん、これ、このきゅうちゃん、わたし、これにする。

C2 わたしはこれなんだけど、先生、わたし、きゅうちゃん、自分で描いてもいい？

T え～？ C2さんの、自分きゅうちゃんにしたいきゅうちゃん、いないなの？

C2 ちがう、いるの、これなの（と言ってシートを指さす）。でも、わたし、自分でこのきゅうちゃんを描きたいの。

T わかったよ。みんなが切って貼る時間でできる？

C2 うん。できる。すぐ描ける。

C3 いない。

C1 C3、タオル持ってるやつあるしょ。

T そうだね、C3さん、始めの江南（カンナム）ダンスのときのタオルだね、そのきゅうちゃん。

C3 わたし、これにする。

T じゃあみんな、最初の自分きゅうちゃんは決まったね。それじゃあ、ちょっとワークシートの②番、めくってみてくれる？ 次のきゅうちゃんは、練習しているときの気持ちを表しているきゅうちゃんを探してほしいの。みんな練習の時、どんな気持ちだった？

C2 頑張ってた。

C3 縄跳びもしたよ。



C1 楽しかった。  
 T うん、みんな、最初っからうまくできた？  
 C3 わたし、できた。  
 C1 いや、最初はできないしょ。  
 C3 できた。タオルのはできた。  
 T 縄跳びは、どうだった？跳び箱は？  
 C3 できた。  
 C1 C3、本番のときはできてたよ。  
 T そうだね、C1さん、よく見ていてくれたね。C3さん、だんだん上手になって1組の先生にも褒められたよね。それじゃあ、今決めた2つのきゅうちゃんをワークシート①と②に切って貼るよ。  
 C 全員（シートから自分きゅうちゃんを切り取ってワークシート①②に貼り付ける）  
 C2 この敬礼のやつ、ウィッチドクターの、これわたし、最初難しかったんだよね。  
 C1 こんなやつ？（と言って、ダンス中の敬礼のポーズをやって見せる）  
 C2 そう、それ。それと、わたしは、手を口のそばにおいて、ぐるり～って回るの、あれ楽しかったな。（と言ってダンスの曲を鼻歌で歌いそのポーズをする）  
 C1（つられて一緒に鼻歌）  
 T そうだね、楽しかったね。C3さんは、江南ダンスのタオル、振り回すの楽しそうだったよね。  
 C3 わたし、はじめからうまくできた。  
 T そう。じゃあ、貼ったらそのことをC3さんは書こうね。

全体で自由発言しながら交流したのち、ワークシート①（学芸会練習のときのことを思い出してしたことや気持ちを書く）から記入し始めた。直前の自分たちの会話からすらすらと書ける児童もいるが、ワークシートに向き合うと手が止まってしまう児童もいる。1人で書き進められない児童には、個別に対応し、全体交流で出た言葉をもう一度繰り返して、質問をして児童から答えを引き出し、その都度、記入をさせた。ワークシート②（練

習中の自分を思い出し語り合う）ではもう一度全体で話をさせた。

T さっき、C1さんが、本番ではうまくできたけど、はじめはできなかったと言っていたよね。じゃあ、みんな、練習しているとき、どんなことを考えていたのかな。貼り付けたきゅうちゃんを見ながらそのときのこと、思い出してみて。教えてくれる？  
 C2 敬礼のやつ、難しかったけど、次はがんばろうって思った。  
 C1 本番のときに、今、練習してる時のこと思い出して失敗ないように頑張ってるって思った。  
 T すごいね、C1さん。練習してる時、もう、本番のときのことを想像していたの？  
 C1 うん。たぶん。  
 T C3さんは何を考えていたかなあ。覚えてるかなあ。C3さんは、練習の自分きゅうちゃん、縄跳びきゅうちゃんにしたんだね。  
 C3 縄跳びできるかなあ。  
 T ああ、縄跳びできるかなあって思ってたんだ。そうだね。このきゅうちゃんの顔、どう？（と、貼り付けた縄跳びきゅうちゃんを指す）  
 C2（C3のワークシートをのぞき込んで）すご～い、きゅうちゃん真剣な顔してる。  
 C1 きゅうちゃん、二重跳びしてる。  
 C3 わたし、二重跳びしてない。二重跳びしてない。（困惑した表情）  
 C2 違うよ、二重跳びじゃなくて、これ、縄跳びがビュンビュン回ってるんだよ。  
 T うん、そうだね。縄がさ、これ、何回も回ってる絵なんじゃない？学芸会ときは二重跳びじゃないね。でも、C3さんがこのきゅうちゃんを選んだのは、C2さんが言ってくれたように真剣な顔で縄跳びしているからだよね。C3さんも真剣に練習したんだよね。  
 C3（うなづく）頑張るぞって思ってる。  
 T このきゅうちゃんね。そうだね。そうか、

これC3 きゅうちゃんだもんね。頑張るぞって思ってるんだね。いいよ。すごくいいよ。じゃあ、みんなもワークシート②まで書いたらロイロノートに提出して。

読みづらいものもあるため、筆者が誤字を訂正し、抜けている文字を補ってパソコンで入力したものを掲示する。漢字仮名表記は児童が書いたままとするが、読みやすさを考慮して分かち書きにしてある。なお、シートから選んで自分できゅうちゃんの絵を描いたC2のワークシートは、描き直しの跡があり、不鮮明なため、選んだきゅうちゃんの原因を載せている。

この後、各自写真撮影したワークシート①②をロイロノートで共有し発表した。

発表内容は、以下にそれぞれのワークシート①②で紹介する。ワークシートは誤字、脱字が多く

完成したC1のワークシート①

れんしんしょうのまわりのきゅうちゃん

右、左、前、さるき、手を、うごかして、います。うまへんきもつた。

① 学び会のれんしんしょうのまわりのきゅうちゃんを思い出して書いてください。

学び会を思い出して

完成したC1のワークシート②

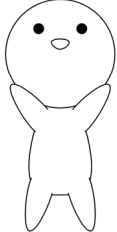
れんしんしょうのまわりのきゅうちゃん

いっぱいしないでね。本ばんとき、いっぱいしないで、れんしゅうしたことをおまじだつ、おじいちゃんね。

② れんしんしょうのまわりのきゅうちゃんを思い出して書いてください。

学び会を思い出して

完成した C2 のワークシート①



れんしゅうのときの  
じぶんにているきゆうちゃん


① 学ばい会のれんしゅうのときのことを、思い出して書こう。したこと・そのときの気もち


学ばい会作文シート① 名まえ

るのりまむるのりまが わたしは、楽しくかったです。

まじねダンスのおどりで、手を口のそばにおいでて、

学ばい会を思い出して

完成した C2 のワークシート②



れんしゅうのときの  
じぶんにているきゆうちゃん


② れんしゅうしているときのじぶんきゆうちゃんに、ききたいことやいいことをまかろう。


学ばい会作文シート② 名まえ

かじかじかです。つき（の練習の時）はがたはります。

ウィッチドクターのおどりで、けらわいのもつがむす


学ばい会を思い出して

完成した C3 のワークシート①

 <p>れんしゅうのときの じぶんに行っているきゅうちゃん</p>										
	<p>れんしゅうのときのわたしは、たおるを みぎ手で ふりまわします。はじめからうまくできませんでした。 れんしゅうでいかにばんがうまくなったのは、とびばこで 足をひらいてとびとびかたです。とんだあとポーズ をすることができました。</p>									
<p>学び会を思い出して</p>	<p>① 学び会のれんしゅうのときを、思い出して 書いて。したこと・そのとき の気もち</p>									

学び会作文シート① 名まえ

完成した C3 のワークシート②

 <p>れんしゅうのときの じぶんに行っているゆめゆうちゃん</p>										
	<p>なわとびができるかなあ。 できた。 学びかいをがんばるぞ。</p>									
<p>学び会を思い出して</p>	<p>② れんしゅうしているときのじぶんきゅうちゃんに、ききたいことやいいことをかこう。</p>									

学び会作文シート② 名まえ

## V-2-2 【2時間目】

2時間目はワークシート③（出番を待っているときの気持ち）④（本番でステージの上で演じているときの様子や気持ち）について考えた。以下に2時間目の授業記録の一部を紹介する。

T 今日はね、本番のときのこと、思い出すよ。ワークシートの③見て。ここは出番を待っているときのことを書くから、待っているときのきゅうちゃん載ってるよ。

C2 本当だ。

C1 昨日から載ってるよ。

T うん。じゃあ、③の問題はなんて書いてあるかなあ。読んでくれる？

C1・2（問題文を読む）

T はい、ありがとう。思い出せるかな。どんな気持ちでいたかなあ。

C2 ドキドキするなあ。緊張するなあ。

C1 失敗しないようにがんばろう。

C2 不安だなあって思ったた。

T へえ～。C2さん、不安だったの？

C2 うん。すごいドキドキした。3年生になっても学芸会あるの？

C1 あるしょ。6年生までずっとあるしょ。

C2 そっか。

T みんなはあと4回あるよ。C3さんは、待っているとき、どんな気持ちだったの？

C3 緊張した。

T そうだよ。みんな緊張したよね。うまくできるかなって思ったよね。

C3 ママたち見てるから。

T ああ、そうか。お家の人、見てくれたからね。

C3 ママとお父さんと〇〇（妹の名前）が見てるから。

…中略…

以上のように全体で自由発言し、ワークシート③に記入させた。その後、ワークシート④に入り、本番のときの自分に似ているきゅうちゃんをシー

トから切り取り、貼り付けさせた。再び全体で話し合いをさせた。その部分の授業記録を載せておく。

T ワークシート④はステージの上で本番をやっているときのことを書くよ。ダンスのことでも手話の歌のことでもいいよ。今、貼った、本番のときの自分きゅうちゃんを見て何をしたのか、どんな気持ちだったのか思い出すよ。

C1 手話は、難しいなって思った。失敗しないかなあって。それにちょっと恥ずかしかったし。

T C1さん、恥ずかしかったの？練習いっぱいして上手になってたよ。

C1（うなずいて）あ、それと、口だけで声を出さないようにって思ったた。

C2 そうだよ。マスク外すから口パクでやったよね。（感染対策のため、手話の歌を披露するときは、声を出して歌うことはせず、手話をしながら口を大きく動かして言葉が口形でわかるように表現したことを思い出している）

T うん、みんな、ちゃんと口の形が見えるように大きく口あけてできたよね。

C1 先生、ウィッチドクターと両方のこと書いてもいい？

T うん、いいよ。

C2 私はメッチャ緊張したわ～。ママいるかなあとか思ってたし。

T そう。C2さん、ステージの上から、ママ探したの？見えたの？

C2 いやあ、眩しくて見えなかったけど。

T そうだね。いっぱい、ライト眩しかったよね。C3さんは？ステージの上でしたこと、なんだった？

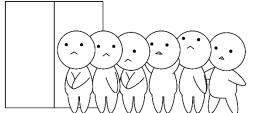
C3 跳び箱。江南ダンス。

T うん。そうだね。C3さん、跳び箱、うまく跳べたんだよね。江南ダンスは？うまくいった？


C2 そう。C3, 跳び箱, すごい上手だったじゃん。  
 C3 跳び箱跳べた。  
 T C3さんは、緊張しなかったの？  
 C3 緊張した。でも跳び箱はうまく跳べると思った。  
 T そう。いいね、それ書こう。  
 …後略…

この後、子どもたちはすらすらとワークシート④の記入を行い、ロイロノートで共有して確認し合い、次時を迎えた。完成したワークシート③④は以下のとおりである。

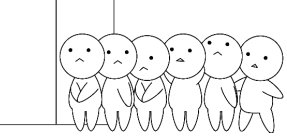
完成したC1のワークシート③

<p>出ばんをまっているときのじぶんになっているきゆうちゃん</p> 	<p>しっばいしないようにがんばろうね。せつたいみんながすごいっていつてくれるからがんばらないと。みんなをよろこばせてがんばろう。みんなをよろこぶだけがんばらないとね。みんなががんばろうね。</p>	<p>③ 出ばんをまっているときの気持ちを思い出して書こう。                  体いくんのううかてまっているとどんなことを考えていたかな。</p> <p>学び会作文シート③ 名まえ</p>
<p>学び会を思い出して</p>		


完成したC1のワークシート④

<p>本ばんのときのステージの上のじぶんになっているきゆうちゃん</p> 	<p>はすかしいきもち。しっばいしないかな。しゅわは、むずかしいから、しっばいしないようにしないと。みんなをよろこぶ。ウィッチドクターもはすかしいな。がんばろう。しゅわのうたも口で声をださないように口だけでしゃべらないとねとおもいました。</p>	<p>④ ステージ本ばんのとき、どんなことをしたかな。そのときの気持ちを思い出しているかな。</p> <p>学び会作文シート④ 名まえ</p>
<p>学び会を思い出して</p>		

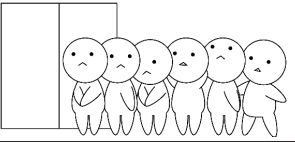
完成した C2 のワークシート③

出ばんをまっているときの じぶんになているきゆうちゃん 		ぶきぶきわくわくたのしみ。きんちようするなあ。ふ あん。…ママ…いるかな…。ほんとうにふあん。あ と…4か月、3・4・5・6年生ぜんぶ がくげいかい おわらなびま。	③出ばんをまっているときの気持ちを思い出して書こう。 体いくんのうつかでまっているときどんなことを考えていたかな。
学び会を思い出して			学び会作文シート③ 名まえ

完成した C2 のワークシート④

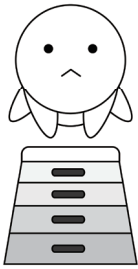
本ばんのときのステージの上の じぶんになているきゆうちゃん 		・きんちよう。 ・ふあんだなあ。 ・ママは、いるかなあ。 ・ちょっぴり ふあんだなあ。 ・でも、たのしみだなあ。	④ステージで本ばんのとき、どんなことをしたかな。そのときの気持ちを思い出して書こう。
学び会を思い出して			学び会作文シート④ 名まえ

完成した C3 のワークシート③

<p>出ばんをまっているときの じぶんになているきゆうちゃん</p> 		
<p>学び会を思い出して</p>	<p>まってるとき きんちゅうしました。ママとおとう んと〇〇（妹の名前）がみてるからじょうきょうしました。</p>	<p>③ 出ばんをまっているときの気持ちを思い出して書こう。 体いくんのうからまってるときどんなことを考えていたかな。</p>

学び会作文シート③ 名まえ

完成した C3 のワークシート④

<p>本ばんのときのステージの上の じぶんになているきゆうちゃん</p> 		
<p>学び会を思い出して</p>	<p>きんちゅうしました。 うまくとべると思った。 とびばこ、タオル、カンナムダンスの中では、カンナ ムダンスがちょっと むずかしかったです。</p>	<p>④ ステージで本ばんのとき、どんなことをしたかな。そのときの気持ちを思い出して書こう。</p>

学び会作文シート④ 名まえ



### V-2-3 【3時間目】

3時間目はワークシート⑤（本番中の自分と語り合う）⑥（学芸会をふりかえって思うこと）について考えた。本番中の様子や気持ちについては前日のワークシート④に記入しているので、ワークシート⑤では、その自分について今現在の気持ちを書く。以下に3時間目の授業の一部を紹介する。

T 今日は、ワークシートの⑤と⑥をやるよ。  
⑤はどんなことを書くのか問題を読んでみるよ。みんなでね。

(C 全員でワークシートの問題を読む)

C1 自分きゅうちゃんと話すの？前もやったよね。

T そうだね。いっつも行事の作文書くとき、やり終わった自分に何て言ってあげたいかなって考えてきたよね。今日もね、最後にそれ、考えるよ。

C1 がんばったねって言ってあげたい。

C2 わたしも。

T うん、どうして、そう言ってあげたいの？ただ、がんばったね、だけじゃなく…

C1 ああ、わけも書くの。

T そうそう。C1さん、そのとおり。がんばったね、じゃなくてもいいんだよ。こんなことできたねとか、最初はこうだったけど、本番はこうだったねえとか。

C1 3年生になってもいっぱい練習して頑張ってるって言う。

C2 いっぱい練習したからいっぱいおどれるようになったね。

T うん。そうだね。C2さん、いいね。いっぱい練習したんだもんね。練習したから成功したんだね。

C1 C1は、思いやりの歌の前にセリフを言わないとね。

T ああ、そうだったね。C1さんは、みんなでダンスやるときにセリフも言ったからね。

C1 うん、うまくいったね、とかもいい？

T いいよ。思い出せるね、いろんなこと。C3さんは、何て言ってあげたいかな。

C3 (無言)

C2 C3, 跳び箱, うまくいったしょ。

T わあ~, C2さん, ありがとう。C3さんのうまくできたこと, 覚えていてくれたよ。

C3さん, 自分で一番うまくいったなあって思うのは, なあに？

C1 跳び箱。

C2 C3, いっぱい練習した？

C3 (うなづく)

T じゃあ, それも書こう。C3さん, 跳んだ後の, ポーズ決めるのもうまくいったよね。

かっこよかったよね。昨日, 書いていたね。

C2 そうだね。こういうの。(着地の後, 両手を開いてポーズを決める真似をする)

C1 こうだよ。(ポーズを決める真似をする)

T よし, じゃあ, 書こう。

こうして、全体交流をしている時間には、子ども同士で発表をつなげる場面も見られた。ワークシート⑤の記入を終えてから、ワークシート⑥について全体交流をした。その部分の授業記録を載せておく。

T 最後は、作文のしめくりになるメモを作るよ。学芸会が終わってどんな気持ちかな。お家の人は何て言ってくれたかな。C3さん、ママ、何て言った？

C3 上手だね。

C2 わたしも、ママ、手話上手だったねって言ってくれたわ。めちゃくちゃうれしかった。だって、家でもいっぱい練習してたもん。

T そうか。C2さん、お家でも練習してたの、ママ、見ていたんだね。

C3 お父さんに、跳び箱上手だねって言われた。

T そう。お父さんも褒めてくれたんだあ。頑張ったもんね、C3さんね。

C1 3年生になったら劇にしたいなあ。

T うん、今年の3年生の劇、面白かったね。  
泥棒学校ね。

C1 C1 たちさ、3年生になったら何するかな。  
面白いの考えて、みんなに見せたい。

T すごいね。C1さん、もう、来年のことま  
で考えてるの？

C1 あと、何回あるの？あと4回あるの？


C2 そうだよ。3年、4年、5年、6年だから  
あと4回あるよ。

T よし、じゃあ、来年はどうしたいかとい


うことも書いていいよ。すごいね、どんど  
ん出てくるね。じゃあ、今みんなが言って  
くれたことに似ている自分きゅうちゃんを  
選んで貼ってから、書こうね。

このあと、思い思いのきゅうちゃんを選びワー  
クシート⑥に貼り付けてから、自由発言した内容を  
まとめて記入した。ロイロノートでの共有も  
行った。完成したワークシート⑤⑥を紹介する。


完成したC1のワークシート⑤

	<p>がんばったね。三年生になってもがんばってね。みんなをよるこぼせないとね。おもいよりのうたのまえに、せりふを言わないとね。うまくいってね。</p>										<p>⑤ 本ばんをやっているときのじぶんきゅうちゃんとはなをしよう。何を考えていたのかな。どんな気もちだったのかな。なんて言っておきたいかな。</p>																																								
												<p>学ばい会作文シート⑤ 名まえ</p>																																							
																						<p>学ばい会を思い出して</p>																													

完成したC1のワークシート⑥

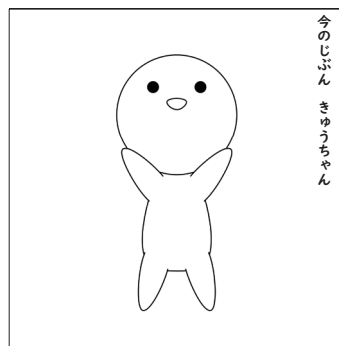
	<p>三年生になったら、もっといいことをみんなに見せたいなって思っています。自分に、がんばったね。こんどもがんばってねって言いました。こんどはけきになりたいなって思っています。あと、四回学ばい会があります。三年生になったらおもしろいげきを考えてみんなに見せたいなうと思っっています。</p>										<p>⑥ 学ばい会をぶりかえってみよう。今、どんな気もちかな。来年はどうしたいかな。自分に、なんて言っておきたいかな。おうちの人や友だち、先生から言われたこと書いていよ。</p>																																								
												<p>学ばい会作文シート⑥ 名まえ</p>																																							
																						<p>学ばい会を思い出して</p>																													

完成した C2 のワークシート⑤

									<p style="text-align: right;">⑤本ばんをやってゐるときはじぶんぽんぽんぽんはなしをしよう。何を考えていたのかな。どんな気がしたのかな。なんて言ってあげたいかな。</p>				
				<p>いっばいれんしゅうしたから、いっばいおどろけるようになったね。スタンプとシールあげるね。(やったく。楽しみ。)</p>									
				<p style="text-align: right;">⑥本ばんをやってゐるときはじぶんぽんぽんぽんはなしをしよう。何を考えていたのかな。どんな気がしたのかな。なんて言ってあげたいかな。</p>									

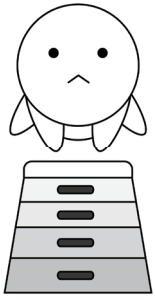
学び会を思い出して

完成した C2 のワークシート⑥

									<p style="text-align: right;">⑥学び会をふりかえってみよう。今、どんな気がしたかな。来年はどうしたいかな。自分に、なんて言ってあげたいかな。おうちの人や友だち、先生から言われたことも書いていいよ。</p>				
				<p>来年はいっばいダンスをやってみんなをえがおにしたいです。ママが「手話、上手だったね。」と言っていました。めっちゃくちやうれしかったです。思いやりのおたの手話をいっばいれんしゅうしたからです。家でもれんしゅうしました。</p>									
				<p style="text-align: right;">⑦学び会をふりかえってみよう。今、どんな気がしたかな。来年はどうしたいかな。自分に、なんて言ってあげたいかな。おうちの人や友だち、先生から言われたことも書いていいよ。</p>									


学び会を思い出して

完成した C3 のワークシート⑤

	本ばんでステージの上にいるじぶんに きゆうちゃん		がんばったねと 自分に いってあげたいです。自分で一ばんうまくできたとおもうのは、とびばごです。いっぱいれんしゅうしたからです。きめるポーズもできました。	⑤本ばんをやっているときのじぶんきゆうちゃんとはなしをしよう。何を考えていたのかな。どんな気持ちだったのかな。なんて言ってあげたいかな。	学ばい会作文シート⑤ 名まえ
---	-----------------------------	--	---	--	----------------

学ばい会を思い出して

完成した C3 のワークシート⑥

	今のじぶん きゆうちゃん		おうちにかえってからママが「じょうずだったね。」といいました。おとうさんは「とびばご、じょうずだね。」といいました。わたしはうれしかったです。	⑥学ばい会をふりかえってみよう。今、どんな気持ちかな。来年はどうしたいかな。自分に、なんて言ってあげたいかな。おうちの人や友だち、先生から言われたことも書いていいよ。	学ばい会作文シート⑥ 名まえ
---	--------------	--	---	---	----------------

学ばい会を思い出して

V-2-4 【4時間目】

ワークシート①～⑥をもとにして、記述した順番に作文用紙への清書をした。マラソン作文と同

様、推敲は個別に行った。完成した作文を以下に紹介する。一人称はすべて「わたし」に書き替えてある。

ゴーゴーガッツキッツー

C1

学ばい会のれんしゅうのとき、ウィッチドクターのこんにちわって言うところを、いつばいれんしゅうしたので、うまくできました。右、左、前にやる時、手をピツとして、こんにちわって手を下げるのがうまくいきました。しっばいしないでね。本ばんのとき、しっばいしないでれんしゅうしたことを思い出しておどろろね。れんしゅうしているとき、わたしは、自分に言いました。

出ばんをまつているとき、しっばいしないようにがんばろう。ぜつたい、みんなが、すごいって言うてくれるからがんばらないと。みんなをよろこばせてがんばろう。きんちようするけどがんばらないとね。みんな、がんばろうね。

学ばい会の本ばんのとき、心の中で、はずかしいきもち、しっばいしないかな、手話はむずかしいからしっばいしないようにしないと。きんちようするな。ウィッチドクターもはずかしいな。がんばろう。手話のうたも口でこえを出さないように口だけでしゃべらないとね。と思いつきました。本ばんがおわって、わたしは自分にこう言いました。がんばったね。三年生になつてもがんばってね。みんなをよろこばせないとね。おもいやりのうたの前でせりふを言わないとね。うまくいったね。

三年生になつたら、もっといいことをみんなに見せたいな。って思います。自分に、がんばったね、こんどもがんばってねって言いました。こんどは、げきをしたいな。って思います。あと、四回学ばい会があるからね。三年生になつたらおもしろいげきを考えて、みんなに見せたいな。って思っています。

ゴーゴーガッツキッツー

C2

わたしは、きつねダンスチームでした。ダンスで手を口のそばにおいて、まわるころがわたしは楽しかったです。れんしゅうのときウィッチドクターのおどりで、けいれいのやつがむずかしかったです。つぎは、がんばろうと思います。

本ばんのとき「どきどきわくわく楽しみ。きんちようするなあ。ふあん：ママ：いるかなあ。本とうにふあん。あと：四回、三・四・五・六年生ぜんぶ学ばい会、おわらなきゃ。」と思いました。

本ばんのとき、ステージで、どきどきしました。きんちようしました。ふあんだなあと思いました。ママは、いるかなあ。ちよつぷりふあんだなあ。でも楽しみなあと思いました。

本ばんは、ちゃんとできました。いつばいれんしゅうしたからいつばいおどれるようになったね。スタンブとシールあげるねと自分に言いたいです。

来年は、いつばいいつばいやって、みんなをえがおにしたいです。ママが「手話、じょうずだね。」と言っていました。思いやりのうたの手話をいつばいれんしゅうしたからです。家でもれんしゅうしました。学ばい会、また、やりたいです。

カンナムダンス

C3

れんしゅうのときのわたしは、タオルをみぎ手でふりまわします。はじめから、うまくできました。れんしゅうで、一ばんうまくいったのは、とびばこで、足をひらいてとぶとびかたです。とんだあと、ポーズをするのもできました。

れんしゅうのとき、なわとびできるかなあ。学ばい会をがんばるぞと思っていたら、うまくできました。

本ばんのまえ、まつてるとき、きんちようしました。ママとお父さんと妹が見てるからドキドキしました。本ばんはステージの上で、うまくとべると思いつきました。

がんばったねと自分にいつてあげたいです。自分で一ばんうまくできたとおもうのは、とびばこです。いつばいれんしゅうしたからです。きめるポーズもできました。

おうちにかえつてからママが「じょうずだったね。」といいました。おとうさんは「とびばこ、じょうずだね。」といいました。わたしはうれしかったです。

### V-2-5 ふりかえり

以下に、2つの行事作文授業についての子どもたちのふりかえりを紹介する。

#### C1のふりかえり

字がきれいに書きました。きゅうちゃん、かわいかったです。作文のきゅうちゃんがいいです。きゅうちゃんがいたら、作文を書きたくなるからです。

#### C2のふりかえり

きゅうちゃんをわたしだと思って絵にかいて、作文に書いてとても楽しかったです。きゅうちゃんをかいて、作文用紙に書く方がすきなべんきょうです。

#### C3のふりかえり

きゅうちゃんをつかってないときより、作文が楽しいです。

## VI. 行事作文に看図アプローチを活用した成果

特別支援情緒学級において、慣れ親しんだ「きゅうちゃん」を活用して行事作文を書いてもらった。比較的大きな2つの学校行事についての作文である。ともに、行事が終わってから、週末や振替休日などをはさんで2～3日経過した後に取り組んだものである。

1つ目のマラソン記録会作文は、体育の時間に、一斉指導のもと、皆が同じ場所で同じように練習し、本番に挑んだことについて書いた。出来事としての違いは、記録会当日、自分の家族が応援に来ているかどうか、そしてそれぞれの走力、順位である。

2つ目の学芸会作文は、ほぼ1か月にわたる長い練習・準備期間を経て迎えた本番当日までの自分のことについて思い出して書く活動であった。こちらは、所属する学年全体が3つのグループに分かれてそれぞれの子どもが自分の担当したダンスやリズム体操について時系列に沿って詳細

に思い出す必要があった。

両行事作文とも、子どもたちは自分に見立てた「きゅうちゃん」の絵図を根拠に、練習しているとき、本番を迎えるとき、本番当日など、一定の時間を遡ってつぶさに思い出すことができている。授業記録からもわかるように、子どもたちは、「きゅうちゃん」を頼りに、子ども同士で発言をつなげながら、思い出す作業を支え合っている。以前の実践（田中 2023, p.19）で筆者はお話づくりの学習において、文章のみの提示では推論することが難しいとされる子どもたちも、「きゅうちゃん」の絵図をよく見て考えることで、「このあと、どういう結末がくるか」を想像してお話を作ることができることを確認している。今回の実践では、障害の特性から、何時間も経った出来事やそのときの自分自身の気持ちや行動について順序立てて思い出すことの困難な本学級の子どもたちも、「きゅうちゃん」を介して過去のある一点について詳細に思い出せることが確認できた。さらに、子どもたちの発言からは自分のことだけでなく友達の過去の様子を一緒に思い出し合う場面も数多く見られた。これは、非常に主体的で対話的な学びの姿とも言えるだろう。特別な支援を要する子どもたちには、相手の気持ちを慮ることが苦手な児童も多い。また、相手の表情から他者がどんな気持ちでいるかを想像することが難しい児童もいる。しかし、さまざまな動きや微妙な違いのある表情を持つ「きゅうちゃん」絵図は、そんな子どもたちにとって、ソーシャルスキルトレーニングにもなっているのではないだろうか。

本稿V-2-1学芸会作文1時間目の授業記録に着目していただきたい。学芸会の担当グループで縄跳びを含むリズム体操をした子どもは縄跳びきゅうちゃんを自分に見立てていた。縄跳びきゅうちゃんの絵図を見て、別の1人の子どもが「すごい。二重跳びをしている。」と言ったのに対して「わたしは学芸会で二重跳びをしていない」と言った場面があった。すると、さらに別の子どもが、その縄跳びきゅうちゃんを見て、「これは縄がビュンビュン回っている様子だ、きゅう

ちゃんは真剣な顔をしている」と説明を施している。その後、授業者が子どもたちの発言をつなげた。「きゅうちゃんは真剣な顔をしている」と言った子どもの発言によって「縄跳びきゅうちゃん」を自分に見立てた子どもは納得したのである。つまり、縄跳びをしている自分を表すために「縄跳びきゅうちゃん」を選んだ子どもは、別の子の「二重跳び」という言葉に引っ掛かってしまい、困惑するが、自分の言葉では、「二重跳びしていない」と「二重跳び」の言葉を否定するだけで自身の引っ掛かりを解決できずにいた。しかし、別のもう1人が、跳び縄が二重に見えるのは、縄がジュンジュン回っていることの描写であることを言葉に表出し、さらに「きゅうちゃんは真剣な顔をしている」と付け加えたことで、縄跳びきゅうちゃんを自分に見立てた子どもは「真剣に縄跳びをしている自分」として納得することができたのである。だからこそ、「頑張るぞって思ってる」という言葉に着地できたのである。子どもたちは「きゅうちゃん」絵図の読解を通して、互いの絵図の受け止め方を尊重しつつも、絵図を選んだ理由や気持ちを推し量り、言葉に置き換える。その言葉を伝え合うことを繰り返すうちに固執した考えから抜け出せず苦しんでいる友達を助けた。子どもたちは、しっかりと「きゅうちゃん」絵図に向き合い、それぞれの子どもの気持ちや言葉に寄り添っていた。「きゅうちゃん」は子どもたちを他者理解、自己理解へと導き、その場の状況を軟化させたのである。子どもたちと創る作文授業になった瞬間でもある。

子どもたちのふりかえりには「きゅうちゃんがいたら、作文を書きたくなる」「きゅうちゃんをわたしだと思って絵にかいて、作文に書いてとても楽しい」「きゅうちゃんをかいて、作文用紙に書く方がすきなべんきょう」「きゅうちゃんをつかってないときより、作文が楽しい」という言葉が見られる。これらの言葉から、過ぎた日の行事について、遠い記憶である「そのときの様子や自分の気持ち」を楽しみながら思い出していることが感じられる。さらには子ども自身が「きゅうちゃん

ん」とともに作文を書くことが「好きな勉強」と認識している。「きゅうちゃん」絵図があるときとないときの自分の気持ちを比較している児童もいる。看图アプローチを活用した作文授業は、「書くこと」への意欲や態度をも子ども自身に分析せしめている。「きゅうちゃん」は子どもに「作文が書きたくなる」と言わせる魔力を持っている。楽しく書けることを子ども自身が認知しているのだ。

## VII. おわりに—今後の課題

特別支援学級には、情緒障害により、言語による自分の気持ちの表出が少ない子どもや、喜怒哀楽の表情が少ないために、他者へ気持ちが伝わらない子どももいる。傍から見ると、好きな遊びをしているときも楽しそうな表情をしていないように見えたり、怒っているときや困っているときも眉の動きや口元の表情が平坦に見えたりする子どももいる。あるいは、喜怒哀楽を示す他者の表情から、相手のその感情や表情の理由を読み取り、理解することが困難な子どももいる。筆者は昨年度4月から本実践まで8か月間、本稿の対象児童と授業を創り続けてきた。その中で、特別支援学級児の「書くこと」による言葉の表出とともに、友達と対面する場面や学級会の場などで「言葉」による気持ちの表出が増えてきたことを報告(田中2023)している。そして、「きゅうちゃん」絵図の微妙な表情の違いや体の動きを見ながら、友達が解説するきゅうちゃんの動作や気持ちを聞くことを繰り返すうちに、少しずつだが、他者の気持ちや表情を理解できるようになってきた児童の変容を感じている。筆者の授業創り、ひいては学級経営において、「きゅうちゃん」は子どもたちにとってもう1人のクラスメートになっていると言っても過言ではない。

看图アプローチを活用することで、今、目の前で現実起きていないことでも、その時の自分や友達の姿を思い出し、対話を生むことができる。友達と対話することで過去の自分や今の自分の気持ちを整理することにもつながる。

筆者は国語科教育だけでなく、特別支援教育における自立活動にも「きゅうちゃん」の活用（田中 2023）を継続して行っている。自立活動とは、障害のある児童生徒が障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を養うという目標のもと、設けられている指導領域である。

特別な支援を要する子どもたちは様々な場面で日常生活に困難を感じている。様々な困難の基盤には感覚や認知の違いがある。しかし、これまでの筆者の「きゅうちゃん」を活用した看図アプローチによる国語科、自立活動等の授業は通常学級の子どもたちにも特別支援学級の子どもたちにも等しく受け入れられてきた。そこで今後は、通常学級の子どもたちと特別支援学級の子どもたちとの交流学习にも看図アプローチを活用したいと考えている。

#### 引用・参考文献

- 石田ゆき 2022 「きゅうちゃんの歴史（Ⅰ）－誕生編－」『全国看図アプローチ研究会研究誌』16号 pp.29-37
- 石田ゆき 2023 「きゅうちゃんの歴史（Ⅱ）－とっても大事な『ちょこっと使い』編－」『全国看図アプローチ研究会研究誌』17号 pp.31-44
- 宮崎英憲・山本昌邦 2011 『特別支援教育総論』放送大学教育振興会
- 文部科学省 2017 『小学校学習指導要領解説国語編』東洋館出版社
- 文部科学省 2018 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編 幼稚部・小学部・中学部』開隆堂出版
- 鹿内信善 2003 『やる気を引き出す看図作文の授業』春風社
- 鹿内信善 2015 『改訂増補 協同学習ツールの作り方いかし方』ナカニシヤ出版
- 鹿内信善編著 2010 『看図作文指導要領－「みる」ことを「書く」ことにつなげるレッスン－』

溪水社

- 鹿内信善編著 2014 『見ることを楽しみ書くことを喜ぶ 協同学習の新しいかたち・看図作文レパートリー』ナカニシヤ出版
- 田中 岬 2022 「1年生がスムーズに説明文が書けることを目指して－みぶりが伝える内容を文章化するための看図アプローチ－」『全国看図アプローチ研究会研究誌』14号 pp.3-21
- 田中 岬・石田ゆき 2022 「『看図語りカフェ』を活用した1年生の自分作文－過去現在未来の自分に似たきゅうちゃんて思いを綴る－」『全国看図アプローチ研究会研究誌』16号 pp.3-28
- 田中 岬 2023 「特別支援学級における看図アプローチの活用－自立活動と国語科でのお話づくり－」『全国看図アプローチ研究会研究誌』17号 pp.3-21
- 吉田昌義・鳥居深雪 2011 『特別支援教育基礎論』放送大学教育振興会

#### 謝 辞

このたびも、石田ゆき先生には、「きゅうちゃん」絵図の使用をご快諾いただきましたことを心から感謝申し上げます。もはや、私の授業実践には「きゅうちゃん」は必要不可欠な教材となっています。「きゅうちゃん」を登場させることでこんなにも子どもたちが生き生きと学習に挑むのですから。せんだっては、少し思考に時間のかかる学習をしていたとき、1人の子どもが「きゅうちゃん、助けて」と言ったのです。我がクラスにとってはきゅうちゃん存在はこんなに大きくなっています。このことについてはまたの機会に報告したいと思います。

また、鹿内先生には、論文全体にわたり細かい箇所のお気づきをご示唆いただきました。ありがとうございました。今後ともよろしく願います。

2023年4月15日 受付  
2023年5月26日 査読終了受理